



2025年3月4日

各 位

会 社 名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 倉 田 潔
(コード番号：6063)
問 合 せ 先 執行役員企画部長兼IR室長 工 藤 信 幸
(TEL. 03-3811-8123)

令和7年度 EMIS 事業落札に関するお知らせ

当社は、「令和7年度ローコーディングツール等を軸とした保守性・拡張性・連携性の高い現場視点の EMIS サービス提供・運用等に係る業務一式」を落札しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 受託業務の概要

災害医療に利用される EMIS (広域災害・救急医療情報システム) は、災害時に DMAT (災害派遣医療チーム) や救護班等、医療機関、厚生労働省や都道府県が迅速かつ適切に各種情報 (医療機関の被災状況、災害派遣医療チーム・救護班の活動情報、医療搬送対象患者情報など) を集約のうえ情報共有を行い、効果的な医療対応を行うための調整に利用される我が国の災害時医療対応の要となるシステムです。

本業務は、保守性や拡張性、他システムとの連携基盤を備えた EMIS のシステムとその円滑な運用を支えるサービスの提供を通じて、災害発生時における DMAT 等や医療機関の円滑で迅速な対応の実現に寄与します。

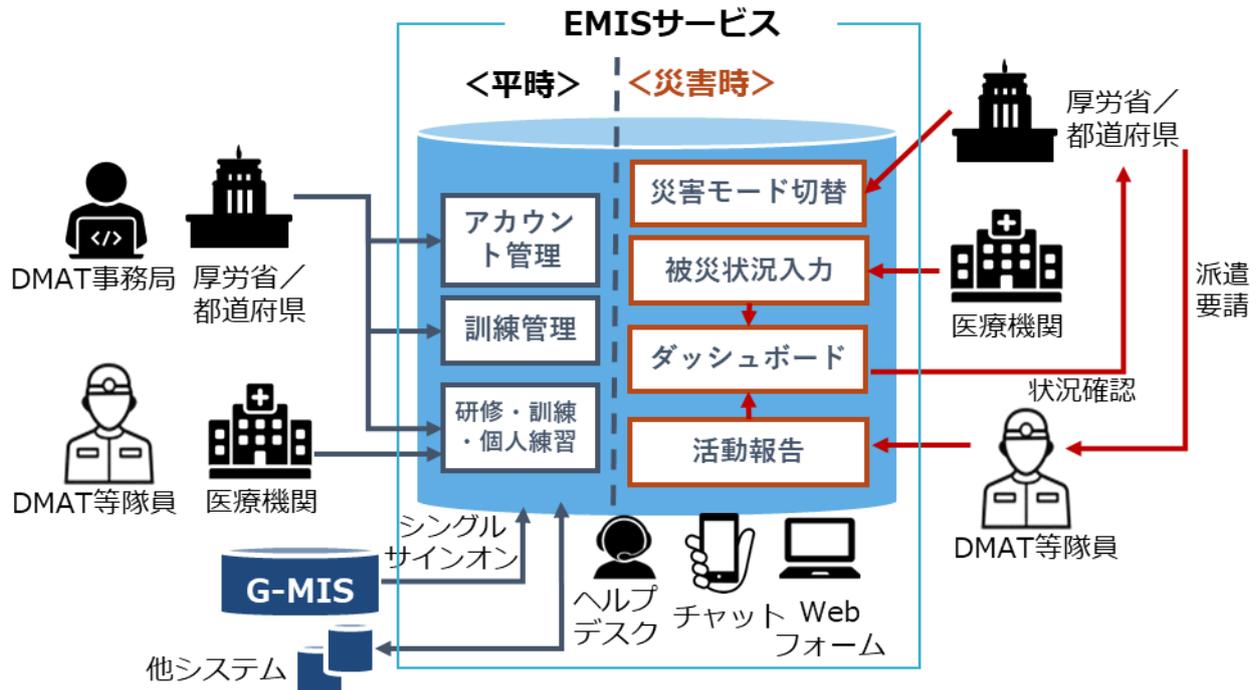
EMIS サービスが持つ機能は、平時においては医療機関情報や DMAT 等の隊員資格の更新等を整えつつ、災害に備えての研修や訓練を実施します。災害時にはモードが切り替わり、医療機関の被災情報報告を基に行政が DMAT 等隊員の派遣を要請し、DMAT 等隊員が災害現場での活動を報告し、それらの最新の状況が全ての関係者にオンタイムで共有され、意思決定をサポートします。

また、システムのみならず、災害によりインターネットが使えない環境に陥った場合などに備えて人とシステムのハイブリッドなサポート体制や訓練のサポート、ヘルプデスクや改善提案コンサルティング等も含有するサービスとして提供いたします。

EMIS サービスは今後新たな利用者や活用する場面を将来的に増やしていく予定であることから、当社は、常に他システムとの連携性やシンプルかつ汎用的に活用できる機能やデザインの追求、拡張性を備えた柔軟な構築を念頭に、EMIS の拡大を支えていくことに貢献します。

また、今後この事業で提供する技術力や業務遂行能力をさらに高め、我が国の災害対策および緊急医療分野等の幅広い“エマージェンシー”の現場における貢献を目指してまいります。

《EMIS サービス概略図》



2. 受託契約の内容

- ①事業名： 令和7年度ローコーディングツール等を軸とした保守性・拡張性・連携性の高い現場視点のEMISサービス提供・運用に係る業務一式
- ②委託者名： 厚生労働省
- ③契約金額： 約308百万円（税抜）
- ④契約期間： 2025年4月（予定）から2026年3月末

3. 今後の見通し

本事業年度における当該事業に係る収益は230百万円程度を、これとは別に、都道府県とのEMISサービス利用契約により169百万程度を見込んでおります。

以上